

No. 1159

交通安全教育車

交通事故をなくすためにりっぱな交通マナーを身につけてもらおうと、こんな願いをこめた車がお目見えした。名づけて交通安全教育車わかくさ号。

ボタン一つでボデーの側面は即座に舞台に早がわり、紙芝居、腹話術、人形劇などをはじめ昼間でも野外で映画を上映し、子供達を楽しませながら安全教育ができる。

今日はある小学校の要請を受けて出動、子供達の拍手に迎えられてわかくさ号は到着。

— 腹話術 —

続いて、紙芝居、マンガ映画と、次々に上演されると子供たちは大よろこび交通安全教育に必要な設備が常に用意された、わかくさ号、無事故を目ざして活動を開始した。

将門ブーム

春を迎えて平将門の人気上昇中だ、ここNHKのスタジオでは「風と雲と虹」の録画が快調に進んでいる。

大黒天などと共に将門をまつる神田明神、このところ参拝者もぐっと増えた。将門の絵馬や神社発行「将門の記」の本の売れ行きも倍増、神社明神は受けに入っている。

一方こちらは都市化の波の中でも残された人々の信仰を集めてきた東京大手町にある将門の首塚。参拝者も増え地元の保存会が設置したさい銭もたまる一方。近くにある大手の銀行では係員に集金させ、平将門名義の預金通帳に繰り入れさせている。

まさか、さい銭どろぼうを見張るためでもあるまいに銀行の屋上からテレビカメラが首塚の模様を記録。

今年で創立25周年を迎えたある劇団、こちらは演劇「平将門」の四月はた上げ公演を目指して目下準備中。

演出の真山美保さんを中心に連日、スタッフ会議を重ねている。平安の昔の衣装えらびも念入りに行われる。舞台稽古にも熱が入り関東の大地を揺がした一代の風雲児平将門の栄光と悲憤を描こうと奮闘中だ。

東京にあるバス会社では専従スタッフ四人で将門コースをスタートさせた。将門生誕の地とされる茨城県石下町を中心にまわるこのバスコース。将門公園、豊田館、将門を供養する西福寺など次々にまわる。

急に観光コースとして作られたこの将門コース親しまれるまで大変だ。地元も大変な熱の入れよう、土産品店がたち、たちまち、将門づけ、清酒将門とちなんだものを並べてPR。何はともあれ千年も昔のこと、あれこれと見せられ想いをはせるのも疲れるはなし。急に世に引っぱり出された平将門、嬉しいやら悲しいやら、言えることなら、ひとこと言いたいのかも。